

# 規則正しい生活と望ましい食習慣形成を

## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

### ■調査の目的

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、子供の体力の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導の改善に役立て、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とし、文部科学

省が実施しています。

### ■調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象としています。

(ア) 小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年

(イ) 中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学校第2学年

### ■結果の公表

教育委員会は、保護者や地域住民の皆さんに対して説明責任を果たすため、文部科学省が定め

「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領」に基づき、調査結果を公表します。

なお、この調査により測定できるのは体力等の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえ、序列化や過度の競争が生じないようにつため、次の点に配慮して公表します。

(ア) 学校ごとの調査結果は公表しません。

(イ) 平均値などの数値については公表しません。

(ウ) 種目別・男女別に全国と全道及び浦幌町の状況を比較したリーダーチャートを公表します。

町のホームページに掲載しています。

(エ) 調査結果について分析を行い、分析を踏まえた今後の体力向上の改善方を公表します。

### ■調査の結果から

【体力の傾向】

▽小学校 男子は上体起こし、長座体前屈、立ち幅とび、ソフトボール投げの4種目で、女子は、長座体前屈、立ち幅とびの2種目で全国・全道の平均値を上回りました。

▽中学校 男子は握力、持久走、ハンドボール投げの3種目で、女子は、長座体前屈、持久走、立ち幅とびの3種目で全国・全道の平均値を上回りました。

▽昨年の結果との比較 小学校男子は長座体前屈、50m走、ソフトボール投げの3種目で、小学校女子は長座体前屈の1種目で、中学校男子は持久走、立ち幅とびの2種目で、中学校女子は20mシャトルラン以外の8種目で昨年の本町の平均値を上回りました。

### 【運動習慣等の傾向】

▽運動が好きな児童生徒の割合 小学校男子は全国・全道を上回りましたが、それ以外は下回りました。

▽体育の授業以外での1週間の運動時間 小学校男子は全国・全道を上回りましたが、それ以外は下回りました。ただし、中学校女子は昨年の結果と比較すると運動時間が大幅に増えています。

### 【体格の傾向】

▽小学校男子 身長は全国平均をわずかに下回り、体重は全国平均をわずかに上回りました。

▽小学校女子 身長、体重ともに全国平均を上回りました。

▽小学校の肥満傾向の児童の割合 男女ともに全国平均を上回りました。

▽中学校男子 身長、体重ともに全国平均を上回りました。

▽中学校女子 身長、体重ともに全国平均を下回りました。

▽中学校の肥満傾向の生徒の割合 男女ともに全国平均を上回り、特に男子は全国平均を大きく上回りました。

### 【分析】

☆浦幌町は児童生徒数が少なく個人差が大きい町としての傾向を把握することは困難ですが、全体的に見ると運動が好きと答えた児童生徒の割合は全国平均を上回っているものの、その他の項目では全国平均を下回っているものが多く、また、肥満傾向にある児童生徒の割合は小・中学校で男女ともに全国平均を上回っています。

☆全国学力・学習状況調査でも明らかのように、テレビやビデオを長時間視聴する、テレビゲームを長時間する、スマートフォンなどを長時間使用することで学習や運動をする時間が失われ、結果として学力や体力が低下しています。

### 【体力向上の改善方策】

☆児童生徒にとって規則正しい生活を送ることは何より大切なことであり、浦幌町教育の日の取組の中で「早寝・早起き・朝ごはん（あいさつ&ノーテレビデー）運動」を推進します。

☆学校では、全教職員で本調査の結果を分析し、課題を明確にして数値目標を設定するなど、授業改善を図る検証改善サイクルを確立し実践します。

☆運動に親しみながら体力向上を図るため、「どさん子元気アップチャレンジ」の積極的な実施に努めます。

☆望ましい食習慣形成のため、地元産の食材を活用した「浦幌みのり給食」を継続します。

## 分析と改善方策